

ゆうひ
雄樋川 (八重瀬町)

むくえかわ
報得川 (糸満市)

下流 中流

雄樋川の河口のほうには漁港があり、中流から上流までは畑が多い所です。下流から上流までは護岸が続いていて、マングローブは全流域に生えていませんでした。

下流 中流 上流

報得川は住宅街をまっすぐ流れていて、川幅もけっこう広いです。上流先は石がいっぱいあります。河口から上流まで、完ぺきに護岸されていて、マングローブは全流域に生えていませんでした。

国場川 (那覇市)

生えている範囲：
下流 (明治橋) より 1.5 km地点～真玉橋、真玉橋～上流へ約 1 km地点

護岸のため、生えていない

漫湖公園の川辺↑ (伐採のあとがあった)

片側にまばらに生えている↑↓

対岸は護岸↓

上流方向へ護岸が続いている↓

1.5 km 地点

明治橋

下流

漫湖公園の対岸↑ (両岸に2~3m幅で集まって生えている)

真玉橋

真玉橋

上流へおよそ 1 km地点

国場川の河口～下流にある明治橋～1.5 km地点までは完全に護岸のため、マングローブは生えていません。特徴的だったのが、真玉橋～上流方向へ約 1 km地点までに生えているマングローブは、片側の岸にだけ、護岸のすぐ前に生えていて、生えていない対岸には、護岸の上に他の草木 (雑草) がいっぱい生えていました。

安謝川 (那覇市)

生えている範囲：河口(てだこ橋)～1.2 km地点

河口

てだこ橋

てだこ橋

←約 20m→

←約 40m→

1.2 km

上流

安謝川の河口のほうは、完ぺきな護岸で全く生えていませんでした。しかし、河口のてだこ橋～1.2 km地点には、マングローブが2カ所、幅約 20mと約 40mで生えていました。上流 (安岡中エリア) は、生えていませんでしたが、他の草木や雑草で覆われていました。

「新開水路」(南城市)

生えている範囲：河口～700m地点



河口 中流 上流近く
中城湾 700m地点

途中で見つけた、南城市にある「新開水路」には、たくさんのマングローブが河口のほうから、兩岸にきれいに並んで生えていました。生えていない所は、護岸になっていました。また、上流のほうは、川幅が細くなって、雑草がけっこう生えていました。

小波津川(西原町)



中流途中の橋 工事の看板 中流

小波津川は住宅街を流れています。工事のため、河口までは行けませんでした。下流には、他の草木が生えていました。中流から上流まで護岸が続いていて、マングローブは生えていませんでした。

牧港川(浦添市)



河口 中流 上流

牧港川の河口から中流は市街地を流れています。上流は住宅街にあって、上流の先は、石や他の草木でおおわれていました。マングローブは護岸のため、全流域に生えていませんでした。

普天間川(宜野湾市)



河口(ニライ橋) 中流

普天間川は、中流途中から上流まで、米軍基地の中にあるため、調査不可でした。河口にあるニライ橋から中流途中までは、護岸のため、マングローブは生えていませんでした。

白比川(北谷町)



河口 中流 上流

白比川の中流は、途中から上流方向に細く谷のようになっています。上流は、雑草と石だらけでした。河口から上流まで、完ぺきに護岸され、マングローブは全流域に生えていませんでした。

天願川(うるま市)



河口 中流 上流

天願川の上流先はゴルフ場になっていて、上流の小川は水が透き通り、水草もたくさん生え、きれいでした。中流の途中にも水草がたくさん生えていて、きれいでした。マングローブは護岸で全流域に生えていませんでした。

億首川(金武町)のマングローブ林も調査しましたが、生えている様子が人工的に植えられたようだったので、報告対象外としました。



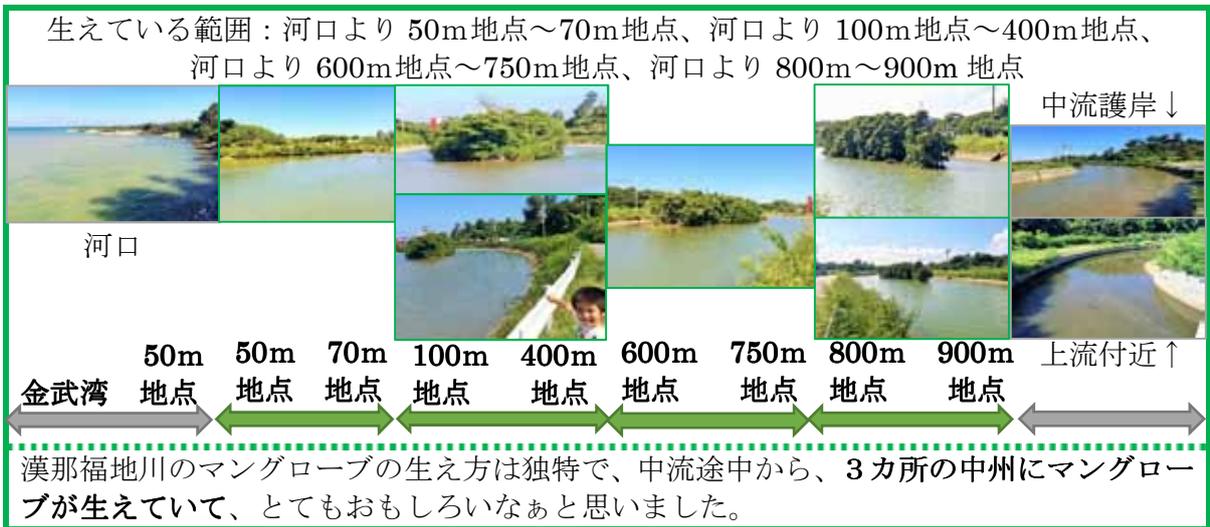
石川川（うるま市）



比謝川（嘉手納町）



漢那福地川（宜野座村）



4. 考察

結果からわかったことの1つ目は、護岸されている所は、マングローブはほぼ生えていなかったことです。わかったことの2つ目は、マングローブが生えていない川でも、水草や特に上流のほうは、他の草木（雑草）がたくさん生えていたことです。わかったことの3つ目は、マングローブが生えている所は、生き物（カニ、ハゼ、鳥など）が集まってくることです。来年は、残りの中部と北部の川をまわりたいです。